

平成25年第7回茂原市教育委員会会議（6月定例会）日程

6月27日（木）15:00～

於：茂原市役所9階会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指定

3 会議事項

（議決事項）

議案第1号 茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について

（報告事項）

1 平成25年第2回茂原市議会（定例会）一般質問の要旨について

2 教育委員会会議 参加者割振について

3 林功作品寄贈概要について

4 平成25年度第8回（7月定例会）及び第9回（8月定例会）茂原市教育委員会
会議の日程について

5 その他

4 閉会宣言

5 協議事項

★(会議結果) 議決事項について、議案第1号は原案どおり可決されました。

茂原市教育委員会会議録

平成25年第7回（定例会）

- 1 期日 平成25年6月27日（木）
開会 午後3時00分
閉会 午後3時42分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員
委員長 齋藤 晟
委員長職務代理者 足立 俊夫
委員 鎌田 俊郎
委員 鈴木 一代
教育長 古谷 一雄
- 4 出席職員
教育部長 鈴木 健一
教育部次長（教育総務課長） 中山 邦彦
学校教育課長 宮本 昌典
生涯学習課長 高中 正典
体育課長 大和久義照
中央公民館長 唐鎌 孝雄
美術館・郷土資料館長 渡辺 哲也
図書館長 池座 一雄
教育総務課長補佐 中村 一之
教育総務課主事 松本 卓也
- 5 署名人の指定
委員 足立 俊夫
委員 古谷 一雄

- 齋藤委員長 : 平成25年第7回茂原市教育委員会会議（定例会）を開会します。
本日の出席人数は5名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。
本日の会議録署名人は、足立委員と古谷教育長にお願いいたします。
これより会議事項に入ります。
本日は、議案が1件となっております。
議案第1号「茂原市立美術館・郷土資料館協議会委員の任命について」
説明をお願いいたします。
- 鈴木教育部長 : < 資料にて説明 >
- 齋藤委員長 : それでは議案第1号について質疑をお願いします。
これは何で森川さんはお辞めになったんですか。
- 鈴木教育部長 : 森川さんは、その時、副議長になったということと現在、監査委員にな
っていますので、その関係で本人の意志で辞任したと理解しております。
- 齋藤委員長 : そうですか。ありがとうございます。何かございますか。
それでは採決に移ります。第1号議案、原案通り可決することにご異議は

- ありませんか。
- 各委員 : 異議なし
 齋藤委員長 : 全会一致で、原案どおり可決することと決定いたしました。
 次は、報告事項に入ります。報告事項の1「平成25年第2回茂原市議会（定例会）一般質問の要旨について」説明をお願いいたします。
- 中山次長 : < 資料にて説明 >
- 齋藤委員長 : さて、質疑となりますが、いかがでしょうか。茂原市議会一般質問の要旨についてということです。
- 足立職務代理 : 飛散防止フィルムは、ガラス1枚にいくらくらいかかるんですか。
 中山次長 : フィルムの種類にもよりますが、通常貼っているフィルムはそんなに高くないと思うんですが、災害用の飛散防止に貼るフィルムだとかなり高いです。値段は、はっきりと聞いていないですけれども。
- 足立職代理 : 1枚何千円とか。
 中山次長 : 何千円か、万単位になります。
 足立職務代理 : 1万円とか。
 中山次長 : このサイズだと、万単位になってしまうかもしれないです。
 足立職務代理 : ということは、大変な金額だということですね。
 鈴木教育部長 : 普通のガラスというのは、割れるととがるんです。今、耐震補強しているところについては、強化ガラスを、車のフロントガラスのように割れてもとがらない、1つはこの強化ガラスにすることによって怪我を防ぐというもの。それと、強化ガラスだけでは、割れた時に飛散します。飛散させないためにフィルムを貼ると、2段階でやれば一番安全であるということ。十分分かってはいるんですけれども、耐震化を図っていく中では、強化ガラスをまず入れています。フィルムというのは、次の話として、フィルムがどれくらいもつのか、10年もつとしたら10年後に全部貼り替えるのかという問題もありますので、その辺のところも考慮し、調査研究ということで答えさせていただきました。
- 足立職務代理 : 今、体育館の耐震化工事をやっているじゃないですか。あの体育館のガラスというのは普通のガラスを使っているんですか。
- 中山次長 : 今、耐震改修を行っている体育館については強化ガラスを使っています。
 齋藤委員長 : よろしいですか。一般質問の要旨について質疑をお願いいたします。
 鎌田委員 : 余談ですが、議員さんがこうやって質問して、それをずっと追っかけて何年でもって、そういう議員さんっていらっしゃるんですか。
- 鈴木教育部長 : あるジャンルについて継続して、引き続きやっている方はいらっしゃいます。議員さんも、市の行政は多岐に渡っており、一つのところに固まるわけにもいかないので、広範囲にやっています。ただ、この部分については、展開を見続けているという事項はございます。
- 齋藤委員長 : これは、1年生議員が質問するんですか。
 鈴木教育部長 : 今回、新しく議員になられた方は5名います。公明党で新しく新人議員という3名の方は、全員一般質問されています。
- 齋藤委員長 : そうすると、3名だけですか。公明党は、そういう組織なのかな。分かりました。
 一般質問の要旨について質疑を承りたいと思います。
- 各委員 : ありません。
 齋藤委員長 : 次に、報告事項の2「教育委員会会議 参加者割振について」説明をお願いします。
- 中山次長 : 例年、新規採用職員や教諭等を傍聴人として呼び出しているんですが、前回もお話申し上げた中で、スケジュール案を作成して、お手元にお配りしました。新規採用教諭が18名、新しく教頭先生になられた方が5名、校長先生が5名、栄養士で共同調理場と幼稚園、小学校から1名ずつ3名ということで、合計31名を予定しまして6ヶ月6回に分けての計画を練ってみましたので、内容をご協議いただきたいと思います。

- 齋藤委員長 : さて、いかがでしょうか。振り分けていただきました。今回は大勢のよう
 足立職務代理 : 7月は決まっていますけど、8月から12月のこの日にちは、一応予定
 中山次長 : はい。
 齋藤委員長 : よろしいですか。他には。
 足立職務代理 : 前にも話したことがあるんですが、傍聴にお見えになって議題くらいは
 置いておいた方が良くと思います。何をやってるか分からないのでは、い
 けないと思いますので。
 中山次長 : はい、分かりました。
 齋藤委員長 : 先生方には、来ていただいた時に何か尋ねますということは事前にお話
 はしてありますか。
 中山次長 : 3分程度、今の学校の内容等をお話いただくということで伝えてありま
 す。
 齋藤委員長 : 後は、若干こちらから何か聞くことがあるかもしれないと。
 中山次長 : はい。
 齋藤委員長 : その他いかがでしょうか。
 すみません、重ねてお聞きします。これは一方的に先生方にいついつの
 何時に来てくれとお頼みしてるんですか。
 中山次長 : 日程につきましては、宮本学校教育課長と相談して組みました。
 齋藤委員長 : 気を遣っていただいているということですね。
 宮本学校教育 : 傍聴については校長会にかけまして、新しく来た方を対象に、例年通り
 課長 割振によって参加して欲しいということで、校長の了解を得ております。
 齋藤委員長 : 割振の報告はよろしいですか。他にありませんか。改めて議題等を入れ
 ていただくということだけでよろしいですか。無いようでしたら、次に進
 みます。報告事項の3「林功作品寄贈概要について」説明をお願いいたしま
 す。
 渡辺美術館・ : この程、東京の西洋フード・コンパスグループ株式会社から社会貢献活
 郷土資料館長 動の一環として、茂原ゆかりの日本画家・林功先生の絵画15点を含む合
 計23点の作品の寄贈があり、感謝状の贈呈式を今週24日(月)午後3
 時より美術館において行いました。出席の方ですけれども、茂原市からは
 市長、副市長、教育委員長、教育長、教育部長、西洋フードから辛島社長
 他4名の方がご出席、その他に林先生の奥様の林直子様と息子様もご出席
 いただきました。それと、市役所のOBの林功を語る会ということで、生
 前より応援されている会がありまして、その方たちにもご出席いただきま
 して行いました。
 今回寄贈されました林功先生の作品は、1984年に結成され10年
 間に渡り10回開催された「横の会」に出品された全27点のうちの15点
 で、大きさは100号から150号の大作です。美術館におきましては、
 既に10点ほど、林先生の作品を収蔵しておりますので、合計すると25
 点ということになります。林先生の作品のコレクションとしては国内有数
 の美術館となりますので、今後は寄贈されました作品を市民や多くの皆様
 方にご覧いただけるよう企画展等を計画して開催していきたいと思ってい
 ます。
 齋藤委員長 : 以上につきまして、何かございますか。
 これは特別に林功展というものを開くというような計画はまだないんで
 すか。
 渡辺美術館・ : 今年度におきましては、既に年間の計画がございまして、その中で学芸
 郷土資料館長 員と話して後半に出来ればということで予定しております。ただ、今回は
 寄贈されたものということで限定して、場所も大展示室あたりを予定して
 いるんですが、そうは言っても場所も限られますので、その中で今回寄贈
 いただいたものを中心に考えております。あと平成27年で70年という
 お話もありましたけれども、そういった中で企画展ということで林先生の
 作品を、うちの方で収蔵している作品も踏まえて、企画展ということで計
 画して出来ればなと思っています。

- 齋藤委員長 : 重ねてお尋ねしますが、素晴らしい絵が段々増えてきますけど、それを保存する状態というのは茂原の美術館はいかがでしょうか。
- 渡辺美術館・郷土資料館長 : 収蔵庫につきましては、湿度と温度管理は全て大丈夫なんですけれども、今工事しています冷房換気が一部壊れています。この工事で直るんですけども。あと、問題はスペース的な問題がありまして、寄贈がございますので、そろそろいっぱいになってきているという状況です。
- 齋藤委員長 : 現状は大丈夫だということですね。
- 渡辺美術館・郷土資料館長 : はい。
- 齋藤委員長 : いかがでしょうか。何かございますか。
- 渡辺美術館・郷土資料館長 : 買うとすると、1枚の大作はいくらくらいしますか。
- 齋藤委員長 : 時期や需要供給のバランスで、作品によっても異なりますので一概にいくらとは言えません。
- 齋藤委員長 : こちらの報告はよろしいですか。次に報告事項の4「平成25年度第8回（7月定例会）及び第9回（8月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について」説明をお願いいたします。
- 中山次長 : < 資料にて説明 >
- 齋藤委員長 : 日程はよろしいですか。
- 各委員 : はい。
- 齋藤委員長 : あとは、その他ですか。その他ご報告ございますか。
- 宮本学校教育課長 : 前回の委員会会議の時に、ご報告させていただいた幼稚園の用務員さんの関係をとということで最後ありましたので、近隣の市町村の状況を問い合わせ確認いたしました。そうしましたところ、おおよそ内房の方から木更津、君津、市原、大網白里、それと東金、その辺のラインから北が用務員をおいている状況です。茂原、勝浦、それから鴨川と茂原から南の方に設置されている公立の幼稚園には用務員は配置されていないという線引きがある状況です。
- 足立職務代理 : それは幼稚園の規模に関わらず用務員さんが置かれているということですか。
- 宮本学校教育課長 : 1園あたりの大きさというのは即答出来ないわけですが、南の方の規模からすると1園の大きさはそんなに大きくないと思っています。ただ、都市部の方の幼稚園は規模が大きい、茂原あたりより大きい規模の市もたくさんございます。
- 足立職務代理 : 北では、茂原より規模が大きいところでも置いてあるということですか。
- 宮本学校教育課長 : 例えば、東金市は8つの幼稚園があつて、規模は大小あると思いますが、その8つには用務員は配置されているということです。
- 足立職務代理 : 幼稚園が8つもあるんですか。公立の。
- 宮本学校教育課長 : はい。東金市立の幼稚園。
- 齋藤委員長 : それなら、そんなに園児も多くないんじゃないのかね。
- 足立職務代理 : 何にしても8園というのは、多いですね。
- 齋藤委員長 : 今のもひっくるめて、茂原市の幼稚園については色々話し合いをしてくれないといけないんじゃないですかね。規模とか内容とか。
- 鈴木教育部長 : 今の話ですが、茂原には公立の保育所が10箇所、幼稚園が4園あります。14あるんですが、今、幼保一元化の話が出て、子ども子育て会議とうのをこれから立ち上げ、色んな必要性のある施設のあり方、利用者も含めてアンケート調査等実施されて、協議されていきます。
- 齋藤委員長 : その中で、認定こども園という話が当然あります。14全部必要かという話もありますし、統廃合も含めて物事を検討するという話になっています。それが平成27年度まで、平成26年度中に計画を作るという話だったと思いますので、そういった流れの中で、当然適正規模ということが一つの要素としてあると思います。幼稚園と保育園を兼ねたこども園という

流れの中でも規模を適正化しないと、保育士も含めて子どもの保育をする人の数も確保しないと運営がうまくいかないということもありますので、そのような流れの中で全体の枠組みが決められた時は、今言った用務員さんが適切かどうかということもあると思うんですけど、そういう考え方も取り入れた中で色んな計画が話し合われて、出来あがって行って、推進されるという風に理解しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

齋藤委員長 : 27年度までということで、その間の具体的な日程っていうのはまだあがってないわけですね。

鈴木教育部長 : 子ども子育て会議というのは、今年度立ち上がるはずですが、立ち上がりましたら、アンケート調査ですとか実態調査ですとか、そういったことを全部やるっていう話になっていますので、26年度中に茂原市の子ども子育て計画のようなものが確立するという話になると思っています。その流れの中では、どういう風にあるべきかっていうことは示されると理解しています。

齋藤委員長 : ありがとうございます。よろしいですか。

足立職務代理 : はい。先月、幼稚園児への奨励金で3人目は30何万出るようになったし、少しずつ子どもを産みやすいような状況になってくるんじゃないかと思って、いい方向には行っていると思いますので期待したいと思います。

齋藤委員長 : その他でご報告いただきました。他に何かございますか。

足立職務代理 : 前回の議事になってしまいますが、豊岡幼稚園の3歳児の牛乳の件がありましたよね。あれは、あの後どうなりましたか。

宮本学校教育課長 : 200mlの牛乳を半分の大きさの100mlに、ビン牛乳からパックの牛乳に変えることは可能だということまでは報告したと思うんですが、今現在その牛乳の量を半分にした時に子どもたちへ必要な栄養価が、きちんと確保できるのかどうかということを栄養士の方に投げかけています。昨日までの段階で、まだその報告が無いので、それが上がってきた時に問題がないと、栄養的に十分摂取できるということであれば、後はもうちょっと詰めて、具体的には例えば9月から新しいものに、100mlのパックの牛乳に変更することも前向きに検討していきたいと思っています。

足立職務代理 : ただ、現実的にこの間のお話を伺っていると、コップに取り分けて与えていると言っていたんだから、現実としては栄養うんぬんではないのでは。

宮本学校教育課長 : 給食を提供する側からすると、200mlでもってカルシウムがどうかあるとか計算して栄養士は与えているので、それが半分になった時に十分な量であるのかを保証する必要があります。

齋藤委員長 : それは、分かりますけれどね。でも、あれだけの要望が出ているんですから、我々とするそれを実現させてあげたいと思いますね。栄養が足りないのは他の部分で何とかならないかな。上がってきた要望は叶えてあげたいというのは、本音ですね。

足立職務代理 : そうすると、現実的な問題として紙パックになってしまうんですか。それとも小さいビンが100mlであるんですか。要は、手間を考えると、100mlになったとしても、紙パックになったらその紙パックの処理をしなければいけないから、結局は面倒だということになりかねないんじゃないでしょうか。例えば、100mlのビンでやるのが可能なかっていうところもあるんじゃないですか。この間の豊岡幼稚園の話だと、そういうことをひっくるめての話だった。ただ、量が多すぎるっていうだけの話じゃなかったと思いますけれど。

鈴木教育部長 : まず、1点目の100mlの牛乳ビンがあるかという話なんですけど、多分無いと思います。今回も新生酪農さんのビンラインを導入してもらって200mlをやっているというのと、あと100mlをやるということになるのと大きなビンのものはあるんですね。800mlだったか。それをコップにあけるという形で100mlにすることは可能だと思います。そういうことが1点ともう1点、給食をどう取るかという話で、学校給食の場合は、標準的な栄養を取らなければいけないということで、エネルギーがいくつであるとか、ビタミンがどうであるか、塩分がどうであるか基準があるんですね。その中で、一番牛乳で問題になるのはカルシウムなんです。

すね。カルシウムは、小魚とかそういうものにあるんですが、学校給食の中で牛乳が出ている一番の理由は、カルシウムの摂取が一番取り易いんです。牛乳1本分のカルシウムを小魚で取ると井ぶり一杯食べないといけない状態になってしまうので、栄養士さんも一番カルシウムの摂取をし易い方法として牛乳を使っています。ただ、3歳児の子どもに給食の栄養価のことを厳格にそこまでする必要があるのかという議論はなさないといけない部分があります。例えば美味しく給食を食べるという意味で、牛乳の日もあればジュースの日もあるとか、保育園なんかはそういうパターンだと思うんです。毎日、牛乳は出ていないと思います。その辺のところのバランスの問題と給食実施の趣旨の問題を整理しないといけない部分は若干あるんですが、個人的には3歳の子どもはもう少し緩くてもいいのかなという感覚は持っています。ただ、学校給食という面から、基準をクリアしないといけない部分が出てくるので、栄養士さんはある一定の量の牛乳を飲ませないとカルシウムが摂取できないという話になります。その辺のところを時間をいただいて、また調整はさせていただきたいと思いますので、後日、結果についてはご報告しますので、ご理解をいただきたい。

齋藤委員長 : 是非、要望を叶えられるようにお願いします。
この件は、それでもってよろしいですね。
ではこちらでもって、議事と報告は全て終了となります。
以上でもって第7回教育委員会会議を閉会と致します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成25年7月18日

委員長 齋藤 晟

署名委員 足立 俊夫

署名委員 古谷 一雄